

「考える力」が身につき、医師になるのが楽しみになった 4 週間

実習先: 市立伊勢総合病院(総合診療・家庭医療学)

4 週間の実習を終えて、今の率直な感想は「とにかく楽しかった、そして医師になるのが楽しみになった」というものです。

今回の実習で最も印象に残っているのは、「自分の頭で考える時間」を十分に与えていただいたことです。単に指導医の後ろをついて回るだけの見学型実習ではなく、まず自分で患者さんのところへ行き、問診し、身体診察を行い、アセスメントを考える。このプロセスを徹底させてもらいました。

私はこれまで外科系のローテーションが主で、内科系の入院カルテやプロブレムリストの作成には全く自信がありませんでした。第 1 週目は、情報の整理の仕方や鑑別疾患の挙げ方がわからず、正直かなり苦労しました。しかし、指導医の先生方が私の拙いカルテを毎回丁寧に確認し、「なぜそう考えたのか?」「他に見逃している疾患はないか?」とフィードバックを繰り返してくださいました。そのおかげで、最終週には common な疾患の鑑別や、論理的なアセスメントの記載が少しずつできるようになったと実感しています。

また、手技の機会も豊富でした。橈骨や鼠径部からの動脈採血、血液培養、エコー検査など、学生に積極的に経験させてくれる風土があります。もちろん最初は緊張しましたが、先生方が親身にサポートしてくださるおかげで、安心して取り組みました。

病院全体の雰囲気も素晴らしかったです。院内は清潔感があり、看護師さんやコメディカルの方々も学生に対して非常に優しく、挨拶しやすい環境でした。駅からも近く、名古屋から通いやすい立地や、食堂のご飯が美味しかったことも、日々の実習のモチベーションになりました。

「将来、こんなふうに働きたい」と思えるロールモデルに出会い、研修医として働くイメージが具体的に became a reality that was the greatest harvest. 本当にありがとうございました。